

http://www.minamih.net/



12・4・21(土)  
南NEWS NO 3

南を卒業した中1の子ども達が小学生と共に午後練や土日の練習に参加しています。とても嬉しいです。小学生の子ども達にとってお兄さんの存在で、パワフルでスピード感あふれるプレーは憧れの的であり、良いお手本です。

南の送る会で、第35期卒業生全員にNHK基礎英語講座4月号をクラブからプレゼントしました。1冊380円のテキストです。

「年5000円で学年トップの英語の実力をつける方法があるよ」と言って手渡したのです。

しっかり基礎英語講座で勉強している子がいます。これもとっても嬉しいことです。意志の強い子なのできっと続くと思います。来年3月が楽しみです。

私の由井三時代の教え子のお話によると、「中学3年生の子ども達の塾代、英語と数学の2科目で月4万円ですよ」とのことです。年間50万円近くになりますね。私の教え子で南のOB・M君は中学も高校も塾に行かずに独学である有名なW大学に現役で合格しています。今は光学器械のトップメーカーで管理職をしています。小学校時代は自宅学習ノート：GAMBA NOTEでその日の授業の復習と日記に毎日取り組んでいた子どもでした。南のエースでもありました。お子さんに自宅学習の習慣をつけるチャレンジをしてみませんか。



この3月卒業した加藤君からの嬉しい手紙です。

6年間、ありがとうございました。無事に卒業できてうれしいです。矢上先生にはサッカーのことはもちろん、サッカー以外のことも色々教えていただきました。仲間の大切さ、あいさつの大切さ、大事なことをたくさん知りました。これからは、矢上先生に教わったことを生かしてGAMBAります。

### 6年生、順調なスタート！

4月15日の春季カップ戦初日。6年生は赤チームが対プレジール戦4-1、白チームは対CBX戦1-0でそれぞれ勝ちました。

南八王子白1-0CBX 前半1-0 別所小

得点 平山君

○子ども達が決めたチームのめあて

・コーチング ・アジリティ ・コンビネーションプレイ

矢上は白チームの試合を観ました。前半立ち上がりは南がドリブルで持ち込んでいい形を作りましたが、その後は相手のロングキックに押され気味になりコーナーキックを数回と攻められました。

しかし、前半18分、味方のパスを受けた栗橋君がターンして、栗橋君を追い越していく平山君にスルーパス。受けた平山君はドリブルで相手DFを振り切り、GKと1対1。左にかわして無人のゴールに左足で流し込みました。見事な先制点でした。

後半は惜しいチャンスを幾度となく逃す展開が続きましたが追加点を奪えませんでした。1度あった相手の決定的なチャンスは阿部君のファインセーブで守りきり終了のホイッスル。1-0の勝利でした。

前の週の船田小でのむさしのリーグでできなかったロビングボールを落とさず跳ね返す、落とされたボール(バックパス)はダイレクトで相手の裏へという課題はしっかりとクリアすることができました。7~8回あった相手コーナーキックも頭で跳ね返すことができていました。

○めあての達成度は、

- ・コーチング GKの阿部君が常に「つるべ!」「キーパー!」等のコーチングで、バックラインとのコミュニケーションをとっていました。CB谷口君のDFラインへのコーチングも的確でした。失点0は見事!
- ・アジリティ ブロック選抜に選ばれている相手のエースにほとんど仕事をさせなかったのは、攻守の切り替えの速さ:アジリティの勝利です・
- ・コンビネーションプレイ 第1線の栗橋君にボールが当てられたとき、第2線にいた平山君が第3の動きで栗橋君を追い越して栗橋君のスルーパスを受けた場面、正にコンビネーションプレイです。

○子ども達と確認した課題

- ・味方からのダイレクトパスやスルーパスが出てもオフサイドでチャンスをつぶすことが多かった。
- ・アーリークロスが最終ラインから数本出されたが飛び込むタイミングが遅くシュートできなかった。
- ・ボールを受けても相手にぶつけて奪われてしまうことが多い。確実に交わす力を養いたい。
- ・コーチングをもっともっと徹底すればさらに強いチームになれる。

練習で課題を解決していきましょう!!

b y 南のアンパンマン

南八王子赤 4-1 プレジール(前半3-1) 勝ち 川町G

得点 小笠原君 濱野君 2 関矢君

春季カップ戦の第1試合、チーム全員で「走りきる」ことを約束に臨みました。



2分、小笠原君が相手ボールをカットしてそのまま70mドリブルで持ち上がりシュートを決め、その1分後に松宮君がやはりカットしてそのまま前へ、パスを受けた仲居君が右ミドル気味からシュートをうち、ゴール前に走っていた濱野君が決めて2点目を取りました。キーパーに入った5年生の望月君は、声と勇気のあるプレーで試合を盛り上げ、試合開始から5分間は3BKとキーパーが頑張って試合を作ってくれました。MF、FW陣の気持ちが乗ってくると、関谷君の体を入れてボールを奪うプレーや、プルバックまで持ち込むプレー、この試合のチームキャプテン黒沢君も声を出し、速いドリブルからのシュートを撃ちます。前半終了間際、濱野君がゴール前で巧みなドリブルで相手をかまし、それをしっかりフォローしていたフリーの関谷君がシュートを決めて前半3点を取りました。

足元のゆるい中走り続け、さすがに後半は疲れから、かわされるシーンが多くなりましたが、それでもすぐに追いかけて、クリアする気合いのプレーで試合の主導権は渡しませんでした。9分には、相手GKが前に出ているところに山崎君がミドルシュート、惜しくもはずれましたが、まわりがよく見えている山崎君ならではの好判断でした。10分に黒沢君の頑張りから、仲居君がクロスを入れ、濱野君がそれを決めて4点目を取りました。関谷君は、足を痛がったらグラウンドから出すという約束の中、後半15分まで走り続けました。そして、終了間際の松宮君のスライディングが、最後まで「走りきる」という強い姿勢を物語っていました。

b y 伊藤コーチ